

## 2019 年度 入学 試験 問題

# 世界史 B

(試験時間 16:25~17:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

魏晋南北朝の分裂を終わらせ、589年に中国を再統一した楊堅(文帝)は南北朝時代の諸王朝で<sup>①</sup>こころみられた制度を取り入れることにより、財政・軍事の基礎を固めようとした。また、官吏登用法では、推薦制の官僚採用制度である [ A ] を廃止し、従来の門閥偏重を是正するため、学科試験による科挙を導入し、<sup>②</sup>広く人材登用をめざした。第2代の煬帝の時、強力な国力を背景に江南と華北とを結ぶ物資流動の大動脈の大運河を完成させ東突厥の抑え込みに成功したが、あいつぐ土木事業やたびかさなる周辺諸国への遠征、3度にわたる [ B ] 遠征の失敗をきっかけに各地で反乱が起こり、618年に隋は滅んだ。

隋末の混乱のなか、李淵(高祖)は、618年に帝位について<sup>③</sup>唐王朝を建てた。2代目の李世民(太宗)は李淵の次子で、有能な人材を多数登用した。太宗はさまざまな成果をあげたので彼の治世を [ C ] の治としてたたえられた。3代目の高宗は、東は百済・ [ B ] を破り、西は西域のオアシス都市を領有して勢力圏を広げた。思想・宗教の面では、儒教・仏教・道教の三教が、隋・唐になると密接に関係しあいながらそれぞれ独自に発展を見せるようになった。もともと外来の宗教であった仏教はしだいに中国に根つき、浄土宗や禅宗などの宗派が形成された。

科挙制度の整備にともない、漢代以来の訓詁学が改めて重視されるようになった。また、詩が科挙の科目となったため詩作が盛んとなり、李白・杜甫・王維・白居易らが<sup>④</sup>独創的な詩風で活躍した。唐代の中期から以後、六朝時代の形式美が廃れ、古代の簡素で力強い文体の古文復興が唱えられた。<sup>⑤</sup>美術では、書の褚遂良・顔真卿、絵の閻立本・吳道玄らが出た。絵画の題材には山水が好まれ、水墨の技法による山水画が発達した。工芸では、2色以上の釉薬を素地に直接かけて低い温度で焼いた陶器の [ D ] があらわれた。

唐は隋の制度を発展させ、律・令・格・式からなる法制を整備し、三省・六部や監察をつかさどる御史台などの中央管制を設けた。7世紀末に中国史上ただ一人の女性皇帝 [ E ] 武后が帝位につき、国号を周と改めた。その死後の混乱をおさめて唐を復活させた玄宗は、政治を引き締め、国政改革に努めた。それは [ F ] の治と呼ばれる。玄宗後期に節度使らが起こした、安史の乱を鎮圧した唐は財政再建のため、<sup>⑥</sup>

兩税法と塩の専売を導入した。9世紀後半には、塩の密売人による G の乱が全国に広がり、唐の権威は完全に失われ、そして、907年節度使の朱全忠が後梁を建て、唐は滅亡した。

【設問Ⅰ】 A～Gの中に入るもっとも適当な語句を記述解答用紙にすべて漢字で書きなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑥に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関連する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合はeを選びなさい。

- a 首都大興城を建設し、中央集権化を図った。
- b 楊堅は北周の軍事支配集団出身であった。
- c 禪譲の形式で隋を建てた。
- d 国力の伸張に成功し、都を咸陽へ移した。

問2 下線部②に関連する記述として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合はeを選びなさい。

- a 唐代は、科目として、進士科のほか秀才・明経などの諸科を設けた。
- b 唐代に、州試・省試・殿試の3段階制が確立された。
- c 唐代では、3年に1回の実施であった。
- d 元は、中央政府の首脳部を漢人が独占したことから、当初科挙制度を一時停止した。

問3 下線部③に関連して、唐代に書かれた旅行記を2つ選びなさい。

- a 『大唐西域記』
- b 『水経注』
- c 『南海寄帰内法伝』
- d 『西廂記』

問4 下線部④「杜甫」に関連する記述として、正しいものを2つ選びなさい。

- a 『琵琶行』の作者である。
- b 玄宗と楊貴妃をうたった『長恨歌』が有名である。
- c 「国破れて山河有り」で始まる『春望』や『兵車行』などが知られている。
- d 「詩聖」と称され、中国最高の詩人の一人とされる。

問5 下線部⑤に関連して「唐宋八大家」でないものを1人選びなさい。なお、該当するものがない場合はeを選びなさい。

- a 韓愈
- b 歐陽脩
- c 孔穎達
- d 柳宗元

問6 下線部⑥に関連する記述として、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合はeを選びなさい。

- a 反乱の指導者は長安を占領して大斉国皇帝と称した。
- b 反乱の参加者は眉毛を赤く染めた。
- c 農民が太平道に集結して河北・河南などで起こした大農民反乱であった。
- d 反乱軍は一時長安を占領するが、劉秀らによって鎮圧された。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

6世紀、スラヴ人はビザンツ帝国北側の広大な地域に急速に広がった。ドニエプル川中流域に展開した東スラヴ人が住むロシアでは、9世紀にスウェーデン系ノルマン人が A 国、キエフ公国を建国し、先住民に同化してスラヴ化した。10世紀末、キエフ公国のウラディミル1世は、ギリシア正教に改宗して国教とし、ビザンツ風の専制君主政をまねた。13世紀に南ロシアにキプチャク=ハン国が建国されると、キエフ公以下の諸侯はこれに屈服し、約240年にわたってモンゴル支配に服した。

15世紀、モスクワ大公国の大公 B は東北ロシアを統一し、1480年にはモンゴル支配から脱した。彼は、ローマ帝国の後継者を自任し、はじめてツァーリ（皇帝）の称号を用いた。1613年、ミハイル=ロマノフを祖とするロマノフ朝が成立し、専制支配と農奴制が強化された。17世紀後半、ピョートル1世はシベリア経営を進め、中国の清とネルチンスク条約を結び、南方ではオスマン帝国を圧迫して黒海北部の C 海に進出した。また、バルト海を支配していたスウェーデンに対し、ポーランド・デンマークと組んで攻撃した（北方戦争）。ロシアはスウェーデンを破り、バルト海の覇者となった。18世紀後半、エカチェリーナ2世は、南方ではクリミア半島をオスマン帝国から奪い、東方ではオホーツク海まで進出し、日本にも使節ラクスマンを送った。1772年、プロイセン・オーストリアの誘いを受けて、ロシアは、3国でポーランド分割を行った。

1814年からのウィーン会議以降、列強の協議によって勢力均衡と平和を維持する仕組み（列強体制）が、イギリスとロシアの二大強国を柱に定着した。1815年にアレクサンドル1世は D 同盟を提唱して、ヨーロッパのほとんどの君主を参加させた。1821年、オスマン帝国内のギリシアが独立戦争を起こすと、ロシアはイギリス・フランスと共に、ギリシアを支援した。オスマン帝国は1829年、ロシアと条約を結んでギリシア独立を受け入れ、ロンドン会議で独立が国際的に認められた。1831年には、オスマン帝国支配下で自治を認められていた E が、オスマン帝国と開戦した。不凍港の獲得と地中海への出口を求めるロシアは、ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の自由通航権獲得を期待して、オスマン帝国を支援した。最終的には1840年のロンドン条約でロシアの南下政策は後退した。1853年、ニコライ1世

は、オスマン帝国内のギリシア正教徒の保護を理由に、オスマン帝国と開戦した（クリミア戦争）。イギリス・フランスはロシアの南下を阻止するため、オスマン帝国を支援した。ロシアは敗れ、1856年パリ条約で、ロシアは黒海の中立化と、1840年のロンドン条約の取決めを再確認させられた。1873年、ロシアは、ドイツ・オーストリアと三帝同盟を結んだ。1875年、オスマン帝国下のボスニア・ヘルツェゴヴィナで農民反乱が発生し、翌年には  でも独立を求める蜂起が起こった。ロシアは、1877年、オスマン帝国に開戦して勝利し（ロシア＝トルコ（露土）戦争）、1878年、サン＝ステファノ講和条約によって、  を保護下に置くことを認めさせた。しかし、オーストリア・イギリスが反対したため、ビスマルクはベルリン会議を開いて列国の利害を調整し、結果、サン＝ステファノ講和条約は破棄され、新たに結ばれたベルリン条約でロシアの拡大はおさえられた。

アジアに関しては、1858年、清と  条約を結んで黒龍江（アムール川）以北を領有した。60年には沿海州を獲得し、ウラジオストーク港を開いて太平洋進出の根拠地とした。シベリア鉄道の建設を進めていたロシアは、下関条約で日本が清から遼東半島を獲得すると、フランスとドイツと共に、これを清に返還させ（三国干渉）、その代償として1896年、清から東清鉄道の敷設権を得、98年には、遼東半島南部を租借した。1900年、義和団事件が起こると、日本とロシアを主力とする8カ国連合軍で北京を占領し、1901年、  が締結された。事件後もロシアは中国東北から撤兵せず、朝鮮への圧力も強めた。イギリスはロシアの南下の動きを警戒したが、当時イギリスはある地域における戦争で手一杯だったため、日英同盟を結んで日本にロシアをおさえさせようとした。日本は対ロシア強硬方針を取り、1904年ロシアに宣戦した（日露戦争）。

【設問Ⅰ】 上記の文章の  ～  内に入るもっとも適当な語句を、記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 下線部①～⑨に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関し、南スラヴ人と西スラヴ人に関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 南スラヴ人の中で最大の勢力をもつセルビア人は、14世紀前半にはバルカン半島北部を支配する強国になった。
- (b) 南スラヴ人の大半は、14世紀末以降、オスマン帝国の支配下に置かれるようになった。
- (c) 西スラヴ人は西ヨーロッパの影響を受けてローマ=カトリックに改宗し、西方ラテン文化圏に入った。
- (d) 西スラヴ人のポーランド人は、10世紀頃建国し、14世紀前半にはカジミェシュ大王の下で繁栄した。
- (e) 西スラヴ人のスロヴァキア人は、10世紀にベーメン王国を統一したが、11世紀には神聖ローマ帝国に編入された。

問2 下線部②に関し、キプチャク=ハン国の建国者は、次の誰か。

- (a) ジュチ      (b) ハイドウ      (c) バトゥ
- (d) フラグ      (e) モンケ=ハン

問3 下線部③に関し、清の領土統治に関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 中国内地、東北地方は、清朝の直轄領であった。
- (b) モンゴル、台湾、チベット、新疆は、藩部として理藩院が統括した。
- (c) チベットでは黄帽派チベット仏教のダライ=ラマらが、現地の支配者として存続した。
- (d) 直轄地、藩部の他、清朝の盛期には、東アジアやインドシナ半島の諸国も清朝に朝貢を行っていた。
- (e) 琉球は、17世紀初めに薩摩の島津氏に服属したが、中国への朝貢は続き、日本と中国に両属する状態となった。



問4 下線部④に関し、エカチェリーナ2世もその一人と言われる啓蒙専制君主に関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) プロイセンのフリードリヒ2世は、イギリスに支援されたオーストリアと戦い（オーストリア継承戦争）、シュレジエンを獲得した。
- (b) エカチェリーナ2世は、治世の初期には啓蒙専制君主として種々の改革を試みたが、プガチョフの農民反乱の後は、農奴制を強化した。
- (c) オーストリアのヨーゼフ2世は、宗教面での寛容政策や農奴解放など、上からの近代化に努めた。
- (d) 『社会契約論』を著したフランスの啓蒙思想家のヴォルテールは、フリードリヒ2世に宮廷に招かれた。
- (e) 「君主は国家第一の僕」というフリードリヒ2世の言葉は、啓蒙専制君主としてのあり方が表現されている。

問5 下線部⑤に関し、オスマン帝国に関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) トルコ人は、13世紀末頃アナトリア西北部にオスマン帝国の基礎を築き、やがてバルカン半島に進出して、1366年、アドリアノーブルを首都にした。
- (b) 1396年、バヤジット1世はアンカラの戦いでバルカン諸国とフランス・ドイツの連合軍を撃破したが、その後、ティムールと衝突し大敗を喫した。
- (c) メフメト2世は、1453年、コンスタンティノーブルを陥れ、ビザンツ帝国を滅ぼした。
- (d) セリム1世は、1517年、マムルーク朝を滅ぼし、その管理下にあった両聖都（メッカとメディナ）の保護権を手に入れた。
- (e) スレイマン1世は、1538年にはプレヴェザの海戦でスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を破り、地中海の制海権を手中にした。

問6 下線部⑥に関し、この条約はロンドン四国条約とも呼ばれるが、次の内、  
四国に入っていない国はどこか。

- (a) イギリス      (b) オーストリア      (c) フランス
- (d) プロイセン      (e) ロシア

問7 下線部⑦に関し、ビスマルクに関する次の記述の内、誤っているものを  
1つ選びなさい。

- (a) ユンカー出身のビスマルクは、1862年、ヴィルヘルム1世から、プロ  
イセンの首相に任じられた。
- (b) ビスマルクは議会の反対を押し切って軍備を拡張したが、これは鉄血政  
策と呼ばれる。
- (c) ビスマルクは、労働者および国民のために、災害・疾病・養老などの社  
会保険制度に代表される社会政策を行った。
- (d) イギリスをおさえ、ドイツの安全を図る複雑な同盟網は、ビスマルク  
体制と呼ばれる。
- (e) ビスマルクは、ヴィルヘルム2世と対立して、1890年に辞職した。

問8 下線部⑧に関し、フランス資本を導入してシベリア鉄道の建設を推進した  
と言われるロシアの政治家は、次の誰か。

- (a) ウィット      (b) スターリン      (c) ストルイピン
- (d) プレハーノフ      (e) レーニン

問9 下線部⑨に関し、この戦争は、次の内のどの地域における戦争か。

- (a) アイルランド      (b) インド      (c) エジプト
- (d) オーストラリア      (e) 南アフリカ

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

ヨーロッパ諸国が、政治的または経済的な覇権をめぐる争いを続ける過程において、17世紀後半からイギリスとフランスは植民地争いを繰り返し、また七年戦争など、幾度も戦争を経て、最終的にイギリスが世界的な覇権を握ることになった。

イギリスは、海外との貿易などを通じて莫大な富を築き上げた一方、18世紀後半に入ると世界初の産業革命が綿工業の技術革新から始まり、は当時の綿工業の中心都市となった。また、綿織物の生産量が急増したため、綿糸が不足した結果、新しい機械が相次いで発明された。

紡績機などの機械の利用には、蒸気機関も応用され、そのエネルギーには石炭が利用されていた。18世紀の初めには、石炭を加工してコークスを作り出す製鉄法をが開発し、製鉄業や石炭業が発展した。

大量の物資を運搬するために、運河や道路の整備も進められた。蒸気機関車はイギリスのみならず、大陸諸国にも普及し、鉄道網が形成された。その他、が試作した蒸気船は19世紀半ばから改良をされて進化し、帆船を凌駕していった。このような交通革命により、世界の一体化が急速に進んでいく。

世界分業体制の中心国となったイギリスは、1837年にが即位してからしばらくの間、繁栄の絶頂にあったといわれている。年には、世界最初の万国博覧会がロンドンで開催され、近代的な旅行代理店の生みの親ともいわれるは、万国博覧会への安価な団体旅行を企画して、多くの見学者を集めた。年は、ドーヴァー海峡に海底電信ケーブルが敷設され、ドイツ人のロイターがロイター通信社を設立した年でもある。

圧倒的な海軍力と経済力の優越を背景として、海外の植民地帝国の拡大に反対する声もあったが、経済的不況も一因となり、植民地政策の再編がはかられて、イギリスはアジアを中心とした海外進出を強めた。中国に対しては、アロー戦争(第2次アヘン戦争)によって経済進出を広げ、さらに、1875年には株を購入してインドへのルート確保し、1877年にインド帝国を成立させた。

その後、イギリスの覇権が徐々に弱まっていく中で、政治面においては、保守党と自由党の二大政党制が、自由主義の衰えによって次第に揺らぎ、労働運動や社会主義

者の活動が強まってくると、それに呼応するかたちで労働党が結成され、1920年代からは保守党との二大政党として現在に至っている。<sup>⑥</sup>

【設問Ⅰ】 空欄A～Gに入るもっとも適当な語句もしくは数字を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文書の下線部①～⑥に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

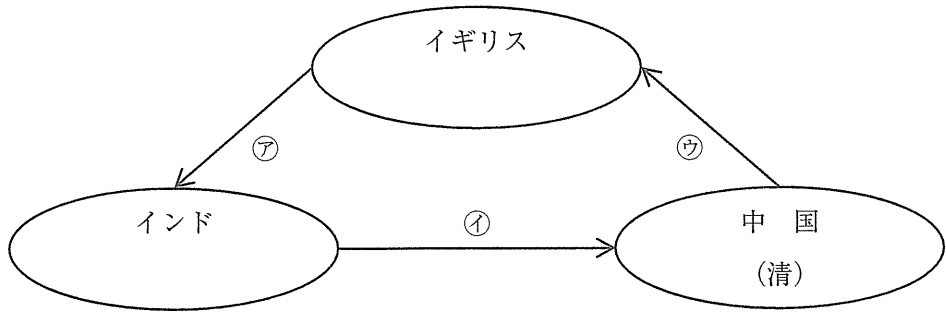
問1 下線部①について、北アメリカにイギリスが築いた13の植民地を含んでいない組み合わせのものを1つ選びマークしなさい。なお、該当するものがない場合は、(e)を選びなさい。

- (a) マサチューセッツ・ニューヨーク・デラウェア
- (b) コネティカット・ニュージャージー・ジョージア
- (c) ニューハンプシャー・ペンシルヴェニア・ロードアイランド
- (d) メリーランド・ヴァージニア・オハイオ

問2 下線部②について、七年戦争の間におこった出来事でないものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は、(e)を選びなさい。

- (a) ケネーが『経済表』を著した。
- (b) 乾隆帝が外国船の入港を広州に限定した。
- (c) フレンチ=インディアン戦争が始まった。
- (d) プラッシーの戦いが始まった。

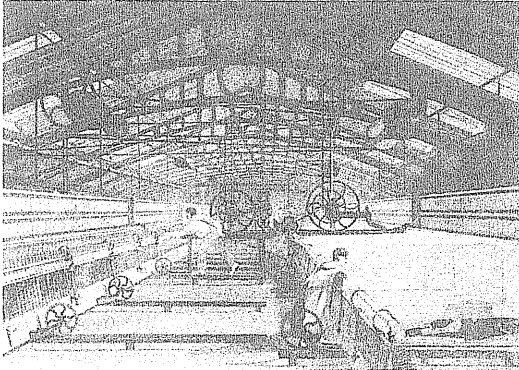
問3 下線部③について、18世紀末からイギリスがインド・中国との間でおこなった三角貿易における②→①→③の流れの組み合わせとして、正しいものを選びなさい。



- |     |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|
| (a) | ② 銀   | ① 茶   | ③ アヘン |
| (b) | ② 綿織物 | ① 銀   | ③ アヘン |
| (c) | ② 茶   | ① 綿花  | ③ 綿織物 |
| (d) | ② 綿花  | ① 茶   | ③ 銀   |
| (e) | ② 綿織物 | ① アヘン | ③ 茶   |

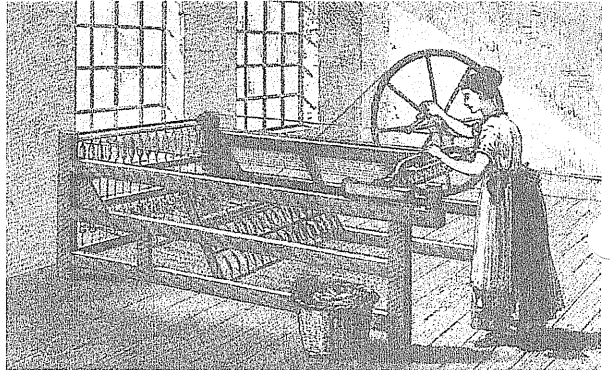
問4 下線部④について、下記の㊦・㊧の紡績機を発明した人物の組み合わせとして、正しいものを1つ選びなさい。

㊦



『最新世界史図説タペストリー 十六訂版』  
帝国書院, 2018, p.180

㊧



『詳説世界史 改訂版』山川出版社,  
2018, p.242

- |               |           |
|---------------|-----------|
| (a) ㊦ クロンプトン  | ㊧ ハーグリーブズ |
| (b) ㊦ ハーグリーブズ | ㊧ アークライト  |
| (c) ㊦ アークライト  | ㊧ カートライト  |
| (d) ㊦ カートライト  | ㊧ クロンプトン  |
| (e) ㊦ ハーグリーブズ | ㊧ カートライト  |

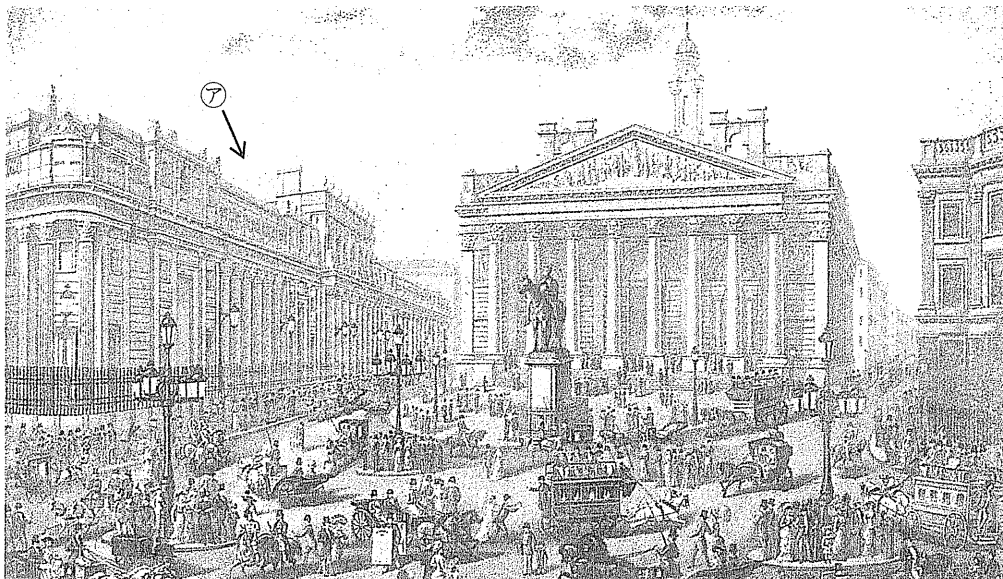
問5 下線部⑤について、アロー戦争（第2次アヘン戦争）に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は、(e)を選びなさい。

- (a) ロシア・アメリカ・イギリス・フランスは清と天津条約を締結した。
- (b) キリスト教の内地布教権や九龍半島南部のイギリスへの割譲が認められた。
- (c) ナポレオン3世が展開した積極的対外政策の一つであったといわれている。
- (d) 五港通商章程において清は治外法権の一種である領事裁判権を認めた。

問6 下線部⑥について、イギリス労働党に関する記述として、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は、(e)を選びなさい。

- (a) 労働党の前身は労働組合とフェビアン協会などの社会主義団体によって結成された労働代表委員会である。
- (b) ウェップ夫妻のうち、夫シドニーは2度にわたる労働党内閣で商務相と植民地相を歴任した。
- (c) マクドナルドはイギリス初の労働党内閣の首相を務め、保守党と自由党と結んだ挙国一致内閣でも首相を務めた。
- (d) 社会改革の1つとして、労働者と雇用主の共同積み立てに基づく失業保険などを内容とした国民保険法を制定した。

【設問Ⅲ】 下記の絵は、ロンドンが世界経済の中枢になっていた19世紀半ばに描かれたものである。1694年にロンドンのシティに創設された絵中㉗の名称を記述解答用紙に記入しなさい。



(出典)『詳説世界史 改訂版』山川出版社, 2018, p.244









